

平成25年 1月10日

障害者小規模事業所 各位

(特非)

神奈川県障害者地域作業所連絡協議会  
理事長 海原 泰江 (公印省略)

### 研修会開催について(通知)

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、障害者小規模事業所職員関係者を対象とした研修会を次のとおり開催いたします。ご多忙のことと思いますが、関係職員等に周知の上、ご出席をお願いいたします。

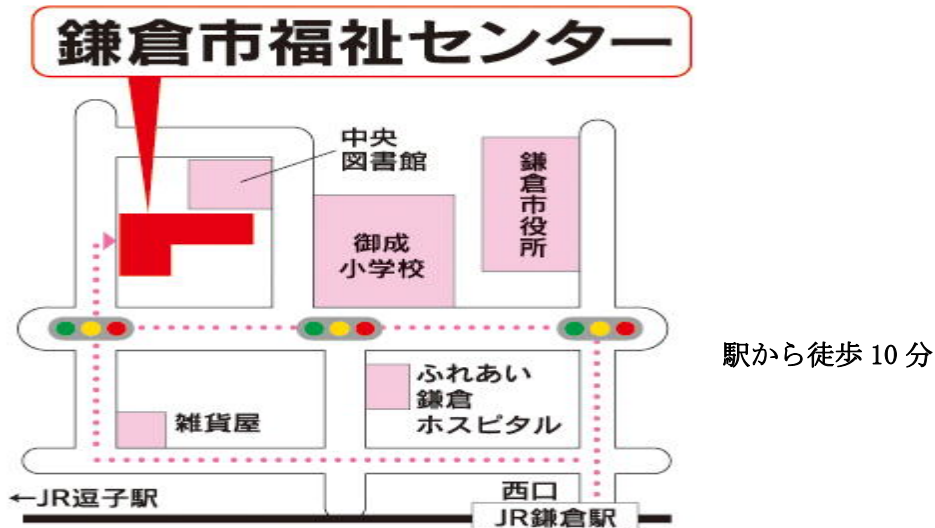
なお、会場及び当日資料等の準備の都合上、恐縮ですがお早めに申込ください。

1	日 時	平成25年 1月 31日 (木) 受付 16:30～ 研修会 17:00～19:00
2	テーマ及び講師	『災害と障害者—私たちにとって本当に必要な福祉避難所とは—』 講 師：青木 千帆子 (立命館大学 研究機構 研究員) 紺野 正直 (福島 NPO 法人ほっと悠) 工藤 慎吾 (福島 NPO 法人ほっと悠)
3	研修内容の目的(主旨)	一昨年(2011年)の3月11日の東日本大震災は、私たち障害関係者にとっても人ごとではなく、今後を考える上でも、大きな教訓になりました。被災地では、障害者(取り分け、知的障害者・発達障害者・認知症の高齢者)の方の中には一般の避難所に入ることができず、避難所を転々としたかたや、親を亡くされた方が入所施設に入っても、その方の支援情報がない為に、混乱が1年たっても続いている等の報道を聞くと、我々も地域で災害に備えた事前の対策が必要だと考えました。 そこで、現在も福島に出向き、車いすの方々の支援や、現在の「福祉避難所」の仕組みについての課題などを考えて活動をされている青木さんと、福島で大震災を経験された車いすを利用されている方をお招きしてお話を伺い、関東でも近い将来に起こると言われています大災害に備え、障害を持った仲間達が苦しむことのないよう準備を考えるきっかけになっていただければと思います、この度の研修会を企画しました。
4	場 所	鎌倉市福祉センター 第一第二会議室 〒248-0012 鎌倉市御成町 20-21 電話：0467-23-1075 FAX：0467-22-2213
5	対象者数	定員： 60名
6	締切日	平成25年 1月25日(金) <u>定員になり次第締め切らせて頂きます。</u>
7	連 携	立命館大学生存学研究センター 立命館大学生存学研究センターは2007年度文部科学省グローバルCOEプログラム「生存学」創成拠点の採択・設立され、5年間のプログラム「生存学」創成拠点として、研究・教育活動を展開されました。現在は、実績を踏まえて「生存学」を構想・提言・実践しつつ国内の中核的研究拠点として、また、海外研究者との連携を強め、グローバルなハブ機能をもった拠点として国内外での「生存学」の交信を目指しているセンターです。

8	申込先	特非) 神奈川県障害者地域作業所連絡協議会 事務局 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 県社会福祉会館内 TEL045-290-0501 FAX 045-290-0201 E-mail <a href="mailto:syousakuren@sirius.ocn.ne.jp">syousakuren@sirius.ocn.ne.jp</a> ※FAX、メールの申込可
---	-----	--

厚生労働省：平成25年度概算要求の概要から  
 III 東日本大震災復興特別会計（主な施策）の抜粋  
 3 福祉避難所の設置促進【新規】 19億円  
 災害時に災害時要援護者（高齢者・障害者など支援が必要な方々）に対し一定の配慮が行われる福祉避難所について、市町村で円滑にその指定や運営が行われるよう、短期間に重点的に財政措置を行う。

参考 厚生労働省関係の災害時要援護者対策  
[http://www.bousai.go.jp/3oukyutaisaku/youengosya/h20/h20\\_pdf/mhlw-shiryou.pdf](http://www.bousai.go.jp/3oukyutaisaku/youengosya/h20/h20_pdf/mhlw-shiryou.pdf)



.....

## 申 込 書

研修テーマ:『災害と障害者 ―私たちにとって本当に必要な福祉避難所とは―』

日時・場所	所属	氏 名
平成25年1月31日(木)		

平成25年1月25日(金) 定員になり次第締切り

FAX 045-290-0201